

ゆうべつ

令和 2 年 8 月発行

第 35 号

発行 社会福祉法人

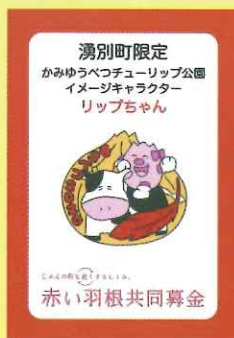
湧別町社会福祉協議会

社協だより

北海道スタイルで再開
ふれあいサロンで地域交流



新型コロナウイルス感染症の
拡大防止対策として長期休所し
ていたふれあいサロンあいが6
月12日に再開し、待ちわびた地域
住民が多く参加しました。
感染予防対策をしながら他の
サロンも再開し、地域の集いが少
しずつ戻ってきています。
は、次頁の記事をご覧ください。



「当地ピンバッジ
好評頒布中です！」
赤い羽根共同募金事業
の、湧別町第4弾「当地ピン
バッジ」が完成しました。
皆さんのご協力をお願い
いたします。
◆頒布募金額
ひとつ500円
◆頒布場所
・社協事務所（本所）
・社協事務所（支所）
・かみゆうべつ温泉
チューリップの湯
・（有）イワイ

コロナに負けない！地域の集いの場を再開 ふれあいサロンに、再び灯を

「みんなに会えてよかった。元気が出た」 6月26日、1月の大雪による休止を含め、6か月ぶりに再開したふれあいサロンゆう。参加者の言葉が印象的でした。

2月下旬から、すべてのふれあいサロンが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として休止していましたが、道の緊急事態宣言解除を受けて、6月から再開しています。

町内のふれあいサロンが、長期の活動休止を経験したのは初めての事です。「密集・密接・密閉」を伴うサロンは、ウイルス感染症のリスクが高いコミュニティに相当します。これまで『地域住民が集まり、楽しい時間を過ごすこと』の重要性をもって推進してきたサロン事業にとって、活動自粛の長期化は、とても苦しいことでした。

コロナ禍の休止期間中に各サロンのボランティアは、それぞれ「今できる活動」を考え、参加者宅の訪問や声掛け、ふれあい郵便の送付などを実施し、これまでの地域

のつながりを守る活動を自主的に展開していました。そして、地域住民の大切な集いの場として『今だからこそ、これまで以上にサロンを盛り上げていきたい』と、様々な感染症予防対策を講じながら運営を再開しました。地域住民の『サロンに行きたい。みんなに会いたい』という想いが重なり、地域実状を踏まえながらの再始動です。高齢者の多くに、感染予防対策や外出自粛等による、いわゆる『コロナ疲れ』が見受けられますが、サロンの再開が明日への活力につながっているようです。



ボランティアによる備品の消毒作業。
(ふれあいサロンきずな)



コロナ対策をしながら、サロンを再開した。(左・ふれあいサロンゆう、右・ふれあいサロンとも)

感染症対策に 善意をありがとう

国内の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、感染拡大防止対策として、心温まる善意を賜りました。コロナ禍により感染症予防に必要な物資が乏しい中、さまざまな福祉事業に活用させていただきました。心よりお礼申し上げます。

株式会社西村組様

消毒液（微酸性電解水）

同社の地域貢献活動の一環で、感染症予防に効果的とされる消毒液を生成する機器を導入し、作られた消毒液を公共施設等で活用してほしいと寄贈されました。社会福祉会館ほかの衛生管理に使わせていただきました。

姉崎 淳一様（旭）

不織布マスク1,000枚

町内の社会福祉法人の事業に役立ててほしいと、不織布マスクを寄贈されました。

社会福祉協議会ほか、町内の社会福祉法人が運営する介護事業等に活用させていただきました。

高齢者に優しい地域づくりを目指して

あなたの街の福祉委員さん

令和2年4月1日より2年間、地域ごとに活動する福祉委員が選出されました。

各地域の福祉委員は次の通りです。

各地域を知り尽くした福祉委員が、ひとり暮らしや夫婦世帯の高齢者の困りごとに対し、見守り活動や相談活動を行うことにより、福祉課題の早期発見、解決の役割を担っています。この活動により、社協と地域住民の連携による、高齢者が住み慣れた地域で長く安心して暮らすことができる地域づくりを目指しています。

【港町】	松 下 久美子	【旭】	姉 崎 淳一
【曙町】	加 藤 美智子	【5の3】	内 藤 雅啓
【緑町】	阿 部 勢津子	【東町】	長 谷 川 政之
【栄町】	茂 手 木 美智子	【北町】	中 山 美恵子
【錦町】	遠 藤 千恵子	【中町】	松 尾 絹子
【川西】	柳 澤 千子	【南町】	木 村 美代子
【信部内】	高 久 幸恵	【5の1】	伊 藤 貞夫
【登栄床】	加 茂 谷 広子	【屯市】	出 川 照 躬
【東】	久 保 幹江		黒 川 範 隆
【芭露】	関 野 一 良		伊 藤 貞 夫
	大 口 恵 子		牧 村 貞 夫
	五 島 裕 子		木 村 美 代子
	上 田 正 子		松 尾 絹 子
	加 藤 卓 子		中 山 美 恵子
	児 嶋 佐 知子		松 田 茂 満
	【西芭露】		長 谷 川 政 之
	【東芭露】		内 藤 雅 啓
	【上芭露】		
	【4の3】		
	【4の2】		
	【4の1】		
	【開盛】		
	【富美】		
	【上富美】		
	【札富美】		

など

合計46名（敬称略）



福祉委員の活動のようす（左側・ふれあい昼食会の配食作業、右側・ふれあい散策会の引率）

令和元年度 事業報告

令和元年度事業報告及び収支決算が評議員会において、承認されましたのでご報告いたします。

◆法人運営事業

- 【自主財源の確保】
- ・社協会費の徴収
- ・共同募金配分金
- 【各種研修会への参加】
- 【法人運営に伴う諸会議の開催】
- ・理事 会5回
- ・評議員会2回
- ・監事監査4回

◆地域福祉活動事業

- 【ふれあい事業の開催】
- ・ふれあい散策会の実施
- 令和元年8月25・9日
- ・おせち料理宅配95名

参加者150名

- 【ふれあい昼食会】
- 令和元年11月20日実施
- ・映画鑑賞（男はつらいよ）外
- 参加者293名

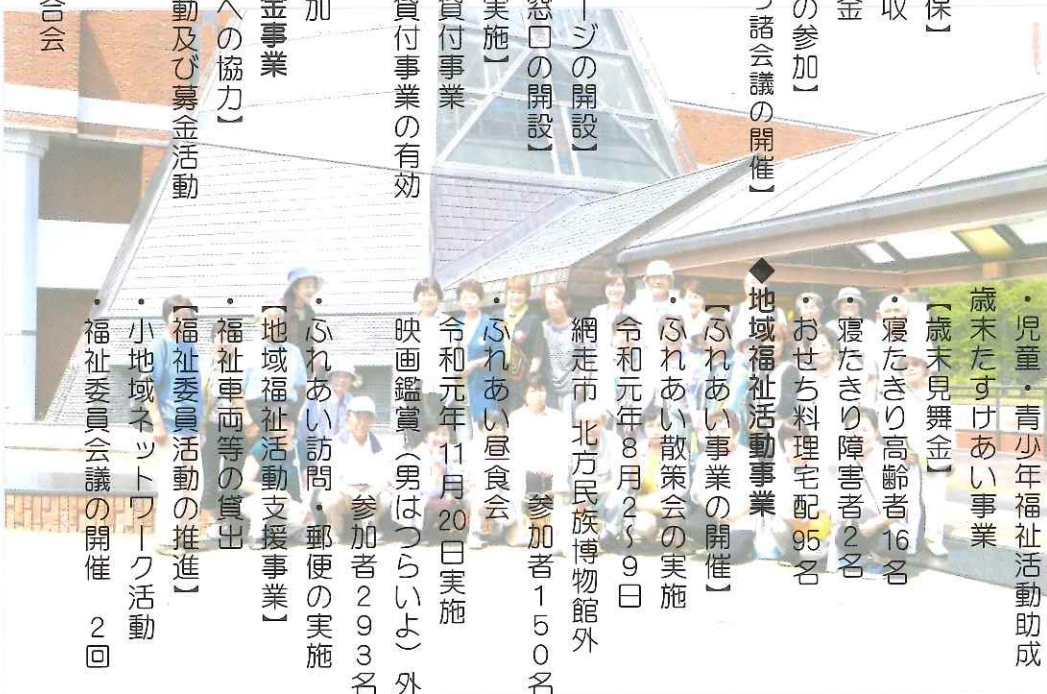
参加者293名

- 【地域福祉活動支援事業】
- ・福祉車両等の貸出
- ・福祉委員活動の推進
- ・小地域ネットワーク活動
- ・福祉委員会議の開催 2回

- 【赤い羽根募金への協力】
- ・募金のPR活動及び募金活動への協力

- ・老人クラブ連合会

- ・生活福祉資金貸付事業
- ・生活福祉資金貸付事業の有効活用と推進
- ・研修会への参加



- 【在宅介護者への支援事業】
- ・ベッド、車椅子等の福祉用具の貸し出し

- 【除雪サービス事業】
- ・利用者114世帯
- ・延利用回数875回

- 【給食サービス事業】
- ・週2回 一食350円
- ・利用者74名 延4,881食

- 【緊急医療情報キット設置事業】
- ・70歳以上の一人暮らし世帯を対象に緊急時に必要な情報を整備し備え置く

- 【地域活動支援センターポレポレゆうべつ支援】
- ・地域福祉活動支援事業
- ・地域イベント用機器貸出事業
- 延べ60団体貸出

- 【ボランティア活動事業】
- 【ボランティア活動推進】
- ・研修会への参加
- 管内V活動推進会議
- 管内Vフォーラム
- ボランティア愛ランド
- 【ボランティア活動有成事業】
- ・ボランティア団体、学童、生徒ボランティア活動助成
- 【生活支援体制整備事業】

- 【外出支援サービス事業】
- ・利用者 延利用254回
- 【軽度生活援助事業】
- ・訪問型介護予防事業
- 延訪問回数 84回
- 【生活管理指導員派遣事業】
- ・延利用回数 36回
- 【生きがい対応型デイサービス事業】
- ・生きがいデイサービス開設
- ・演別地区
- ・利用者 延1,938名
- ・上演別地区
- ・利用者 延2,445名

- 【介護保険事業】
- ・訪問、予防介護事業
- ・居宅介護支援事業
- 各種研修会への参加
- 【障害者自立支援事業】
- ・居宅介護事業
- ・重度訪問介護事業
- ・相談支援事業
- 各種研修会への参加
- 【社会福祉会館管理事業】
- ・福祉会館指定管理
- 【各種団体の運営】
- ・演別町老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協会演別分会
- ・演別町共同募金委員会

- 【ボランティア活動事業】
- 【ボランティア活動推進】
- ・研修会への参加
- 管内V活動推進会議
- 管内Vフォーラム
- ボランティア愛ランド
- 【ボランティア活動有成事業】
- ・ボランティア団体、学童、生徒ボランティア活動助成
- 【生活支援体制整備事業】

- 【在宅介護者への支援事業】
- ・ベッド、車椅子等の福祉用具の貸し出し

- 【除雪サービス事業】
- ・利用者114世帯
- ・延利用回数875回

- 【給食サービス事業】
- ・週2回 一食350円
- ・利用者74名 延4,881食

- 【緊急医療情報キット設置事業】
- ・70歳以上の一人暮らし世帯を対象に緊急時に必要な情報を整備し備え置く

- 【地域活動支援センターポレポレゆうべつ支援】
- ・地域福祉活動支援事業
- ・地域イベント用機器貸出事業
- 延べ60団体貸出

- 【ボランティア活動事業】
- 【ボランティア活動推進】
- ・研修会への参加
- 管内V活動推進会議
- 管内Vフォーラム
- ボランティア愛ランド
- 【ボランティア活動有成事業】
- ・ボランティア団体、学童、生徒ボランティア活動助成
- 【生活支援体制整備事業】



令和元年度 湧別町社会福祉協議会決算報告

(単位:円)

資金収支計算書

科 目	金 額	科 目	金 額
人件費支出	98,656,724	会費収入	2,616,000
事業費支出	14,379,855	寄付金収入	3,211,449
事務費支出	13,030,283	経常経費補助金収入	32,808,631
共同募金配分金事業費	1,990,562	受託金収入	30,636,699
助成金支出	630,520	事業収入	4,137,570
負担金支出	655,326	介護保険事業収入	47,183,886
固定資産取得支出	1,251,180	障害福祉サービス事業収入	4,547,240
積立預金積立支出	1,561,504	雑収入	42,190
		受取利息配分金収入	8,926
		積立資産取崩収入	7,751,330
支出計(2)	132,155,954	収入計(1)	132,943,921
予備費(3)			0
当期資金収支差額合計(4)=(1)-(2)-(3)			787,967
前期末支払資金残高(5)			8,233,598
当期末支払資金残高(4)+(5)			9,021,565

事業活動収支計算書

科 目	金 額	科 目	金 額
人件費支出	96,374,084	会費収益	2,616,000
事業費支出	14,379,855	寄付金収益	3,211,449
事務費支出	13,030,283	経常経費補助金収益	32,808,631
共同募金配分金事業費	1,990,562	受託金収益	30,636,699
助成金支出	630,520	事業収益	4,137,570
負担金支出	655,326	介護保険事業収益	47,183,886
減価償却費	1,397,353	障害福祉サービス事業収益	4,547,240
固定資産処分損	2	雑収益	42,190
		受取利息配分金収益	8,926
支出計(2)	128,457,985	収入計(1)	125,192,591
当期末繰越活動収支差額(3)=(1)-(2)			△ 3,265,394
前期繰越活動収支差額(4)			11,495,430
当期末繰越活動収支差額(5)=(3)+(4)			8,230,036
その他の積立金取崩額(6)			7,751,330
その他の積立金積立額(7)			3,844,501
次期繰越活動収支差額(8)=(5)+(6)-(7)			12,136,865

財産目録

科 目	金 額
流動資産	14,279,139
現金預金	3,031,499
未収金	11,023,494
前払金	224,146
固定資産	53,663,486
基本財産	2,000,000
車両運搬具	1,986,430
器具及び備品	1,115,867
構築物	3
投資有価証券	10,000
退職給与積立金	36,108,904
福祉資金貸付預金	2,000,000
その他の積立金	10,442,282
資産の部合計	67,942,625
流動負債	5,257,574
未払金	3,010,745
預り金	1,095,941
未返還金	1,150,888
固定負債	36,108,904
退職給与引当金	36,108,904
負債の部合計	41,366,478
差引純財産	26,576,147

貸借対照表

科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	14,279,139	流動負債	5,257,574
現金預金	3,031,499	未払金	3,010,745
未収金	11,023,494	預り金	1,095,941
前払金	0	未返還金	1,150,888
前払費用	224,146		
仮払金	0	固定負債	36,108,904
固定資産	53,663,486	退職給与引当金	36,108,904
基本財産	2,000,000		
車両運搬具	1,986,430		
投資有価証券	10,000	負債合計	41,366,478
器具及び備品	1,115,867	純資産	
構築物	3	基本金	2,000,000
退職共済積立資産	15,216,525	貸付基金	2,000,000
退職手当積立資産	20,892,379	その他の積立金	10,442,282
福祉資金貸付預金	2,000,000		
その他の積立金	10,442,282		
		次期繰越活動収支差額	12,133,865
		純資産合計	26,576,147
資産合計	67,942,625	負債・純資産合計	67,942,625

あたたかい寄付金ありがとうございます

(令和2年4月1日から令和2年7月31日まで)

■香典返しを廃止して

(敬称略)

月日	住 所	氏 名	金額	月日	住 所	氏 名	金額
4. 3	北 町	北 畑 友 子	10,000	5. 19	錦 町	鈴 木 暁	30,000
4. 8	東	五十嵐 ふじ子	100,000	5. 19	曙 町	井 上 ちヨ子	30,000
4. 8	錦 町	三 室 美智子	30,000	5. 25	開 盛	佐 藤 寿 子	50,000
4. 9	南 町	横 山 法 子	100,000	5. 25	伊達市	吉 田 安 秀	30,000
4. 17	芭 露	清 水 セ キ	50,000	5. 25	東	小 野 幸 二	50,000
4. 22	錦 町	久 保 志津子	30,000	6. 2	川 西	佐 藤 繁 春	20,000
4. 28	屯 市	高 松 初 男	30,000	6. 2	東	伊 藤 アイ子	30,000
5. 7	錦 町	佐々木 恵 子	10,000	6. 12	計呂地	浪 江 國 彦	30,000
5. 8	東	布 目 昇	20,000	6. 17	5の3	渡 邊 千代子	30,000
5. 11	屯 市	山 原 和 子	30,000	6. 29	東 町	木 村 樹 彦	10,000
5. 12	東 町	管 野 孝 一	50,000	7. 9	屯 市	松 田 信 一	30,000
5. 12	東	石 川 清	30,000	7. 10	開 盛	加 茂 みどり	30,000
5. 18	東	後 藤 健 太	10,000	7. 22	富 美	城 岡 隆 浩	30,000

■福祉活動に役立てて

(敬称略)

住 所	氏 名	品 名
北 町	一般社団法人 繋・つなぐ 田宮 諭	金 100,000 円
南 町	梶 沼 富士江	金 5,000 円
東 町	アサヒ食品工業 株式会社	食品 (うどん・そば・ラーメン) 給食サービス・デイサービスの食材として
栄 町	株式会社 西 村 組	消毒液 (微酸性電解水) コロナ対策として
旭	姉 崎 淳 一	不織布マスク コロナ対策として

社協役職員のおもな動静

令和2年4月から令和2年7月まで

月日	用 務	出席者	月日	用 務	出席者
4. 1	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	7. 10	ふれあいサロンあい訪問	職員
4. 30	湧別町生活支援体制整備事業 第1回担当者会議	局長他	7. 15	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
5. 15	芭露自治会地域づくり懇談会	職員	7. 15	上芭露寿クラブ (老人クラブ) 訪問	職員
6. 3	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	7. 17	ふれあいサロンきずな・ゆう訪問	職員
6. 8	湧別町社協会計監査	会長他	7. 19	ふれあいサロン北町訪問	職員
6. 12	ふれあいサロンあい訪問	職員	7. 20	ふれあいサロン連絡協議会会議	局長他
6. 17	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	7. 22	ふれあいサロンとも訪問	職員
6. 19	ふれあいサロンきずな訪問	職員	7. 27	町老人クラブ連合会役員会	職員
6. 24	ふれあいサロンとも訪問	職員	7. 28	湧別町社会福祉事業検討会議	局長
6. 26	ふれあいサロンゆう訪問	職員	7. 29	令和2年度第1回福祉委員会議	局長他
6. 29	湧別町生活支援体制整備事業 第2回担当者会議	局長他	7. 31	湧別町社協会計監査	会長他
7. 1	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員			